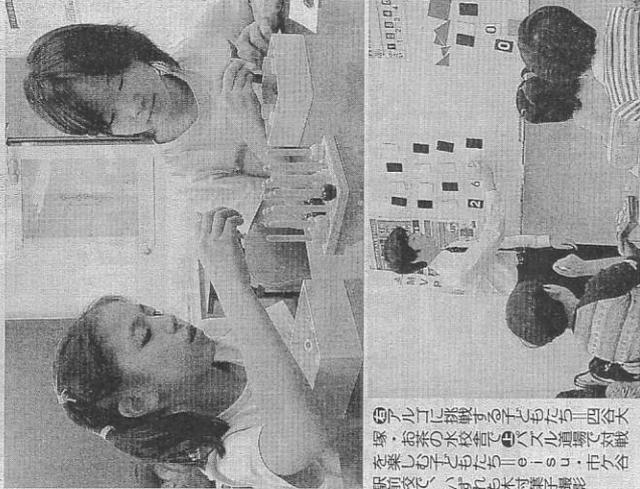


くらしナビ Kids

子ども kurashi@mbx.mainichi.co.jp



①小学に挑戦する子どもたち(四谷大塚・お茶の水校舎) ②パズル場で対戦を楽しむ子どもたち(eisu・市谷駅前校) いずれも写真撮影

コートはテンが良い
リドで、12人の子ど
もたちはじゃんけんを
取り入れた数独ゲーム
や、伏せたカードの数

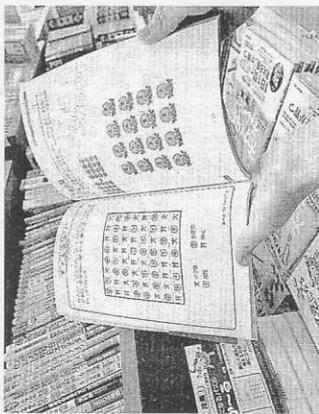
●アルゴクラウ
日曜日の朝、保護者
に付き添われた子ども
たちが中学受験塾、四
谷大塚・お茶の水校舎
(東京都千代田区)に
やってきました。連日回
られるアルゴクラウに
参加する小学1、2年
生だ。

立体や数などのパズルを使って
子どもの思考力を磨くものといら
取り組みが、学習塾ならとどまり
つある。これまで大人向けのパ
ズル本を手掛けた出版社も子
ども向けに参入。パズルで養われ
る「思考力」とは、不利な手こ

「理論的」「直感的」鍛錬へ塾が導入

ら年長、小を対象に
アルゴクラウを導入し
た。
アルゴクラウのシス
テムを開発販売する中

をりりから推理する
「アルゴクラウ」な
どを進める。
「できた」「あー、
わかった。解けた瞬
間、真剣な表情が笑顔
に変わる。90分間、あ
くびをしだり立歩い
たりする子は、一人も
いない。
同塾の教育事業本部
によると、学習による
知識の蓄積ではなく、
思考力を養う新たな方
法として、今年4月から



書店に並ぶ子ども向けのパズル本(東京都新宿区
の配伊国際書店新宿本店で、佐々木順一撮影)

ていた。パズル道場の
仕組みを開発した山手
意徳さん(89)は、「天
人になってからの問題
解決力や危機回避力
は、仮説をたて問題を
解くパズルで鍛えられ
ると語る。

●子ども用を出版
パズル本で好評のあ
る世界文化社は、今秋
初めて子ども向けを出版
した。前編集巻の竹
間勉さん(48)は「パズ

パズルで養う思考力

●パズル道場

夕開する午後4時、
学習塾「eisu・市
谷駅前校(東京都新
宿区)のパズル道場」
には、年長から小6ま
での9人英姿を寄せ
た。「勝った勝った」
「それなし」
「五百並べを立体化」
た四百並べや、5本の
棒でカードに書かれた
形を作るゲームなど、
数種類の立体パズルで
2人ずつ対戦する。勝
つて大喜びする子もい
れば、負け続けて悔し
泣きする子も。
指導者は一切解き方
を教えない。50分間、
全員がパズルに取り組
む様子活気にあふれ

ルによって理詰めで考
える習慣がつくように
なる」と語る。
英文化社で
開かれた世界パズル選
手権に出場した村由
彦さん(28)は、小学生
のころからのパズル好
き。「数学的思考する
力がつき、多角的な物
の見方ができるよう
になった」と語る。
「パズルをすればす
ぐに算数などの成績が
良くなるものではな
い」と関係者は口をそ
るみる。大切なのは夫
人が得意な結果を求め
ず、口出しをしないこ
と。「解けなくても悩
むことが大切で、遊び
の中で考える習慣が身
につく」といふ。

MAINICHI

新 聞 毎 日

11月30日(日)
2008年(平成20年)